

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4693900021
法人名	有限会社 あかつき居宅介護支援センター
事業所名	グループホーム あかつき
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町紫尾4374番地1 (電話) 0996-59-8805
自己評価作成日	令和元年11月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年12月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな、さつま町紫尾に立地。近くに紫尾温泉・湯田温泉や地元物産館のある環境にて、地域の行事に参加して会話交流や、地元保育園児の慰問等で交流を楽しんでいます。

管理者は、常に話しやすい環境づくりに努め、職員間のコミュニケーションを図り、意見交換等を通じ職場改善に向けての改善案を積極的に取り入れ、就業の環境改善、サービスの資質向上に努めております。

利用者様の性格、趣味等、個々に把握して、今までの生活スタイルを尊重して支援をおこなっています。

災害時の対応として定期的な避難訓練を実施し、安心して生活できるように努め、緊急時のAEDも設置いたしております。

施設建物は長い廊下があり、天気に関係なく歩行訓練をされており身体機能の維持を自主的にされております。

職員は家庭的な雰囲気にて入所者様に接し、スキンシップを図りながら笑顔で思いやりのある支援を心がけております。

- ・当事業所は、広い敷地に立地し、近くに物産館があり、買い物や散歩の際には地域の人々とあいさつや会話を楽しみ、野菜をもらったりもする。
- ・地域行事の彼岸花祭りや子ども見守り活動にも積極的に参加している。
- ・食材等の買い物は地元の商店を利用している。保育園児との交流やボランティアの受け入れ、認知症についての相談を受けるなど、地域との良好な関係が築かれている。
- ・道路幅が狭く路肩も危険で、運営推進会議でも懸案事項であったが、地域住民による土地の提供で道路幅の拡張や舗装工事等が着工され、今後、車両の離合や人の通行などに安心である。
- ・利用者が笑顔でその人らしい生活ができるように、個々の残存能力を大切に、花を育てたり、庭の手入れ・ぬり絵・折り紙などの支援を行っている。
- ・管理者は、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I . 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入所者様の生活歴を踏まえ、個々に応じた生活を継続していただけるよう支援に努めております。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念で、玄関や事業所内に掲示し、パンフレットにも掲載している。日々確認し、振り返り、必要時にケアカンファレンス等で話し合い、意識づけし、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事に参加したりして地元住民との交流や、馴染みの店で買い物など継続されるように支援しております。	日頃から地域の商店を利用してあいさつや会話を楽しんでいる。彼岸花祭りなどの地域行事や子どもの見守り活動にも積極的に参加し、保育園児の慰問やボランティアの受け入れなども行っている。近所からの差し入れや認知症の相談にも対処するなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々の相談事には分かりやすく説明し、納得いただいております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、施設の取り組み等の現状報告をおこない、出席者からのご意見や助言をいただき、サービスの向上を図っています。	会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価・ヒヤリハットの報告などを行い、委員からも多くの助言や提案がある。車両離合や路肩の危険防止に懸案事項であった道路の舗装・拡張工事が地域住民の土地の提供により、工事開始となった。交通の安全に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	定期的な会議で担当者と連携を図り、協力関係を築くよう取り組んでいます。	町の担当者には、必要に応じて電話や窓口に出向き、書類更新や相談についても情報を交換して助言を貰っている。運営推進会議を通して協力関係もでき、介護相談員も2人受け入れている。町主催の研修会にも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会で身体拘束ゼロの勉強会を定期的におこない、意識の徹底を図っている。	身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って、3ヶ月に1回の研修会と勉強会を実施している。事例検討などで職員の共通認識を図り、言葉による拘束も含め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内に於いて、虐待に関する勉強会をおこない入所者さんへの接し方等、職員同士がお互いに意識して業務を遂行している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設内の勉強会にて知識を習得するようにしております。利用にあたっては、社会福祉協議会の担当医者と連携を図っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所契約時に、本人様、家族には詳細に説明をおこない、納得ご理解をいただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入所者様・ご家族のご意見・要望等は随時に伺い、入り口にご意見箱を設置し、自由投函できるようにしております。苦情相談窓口を設け、ご意見等伺うようにしております。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、介護相談員の意見も参考に対応している。家族からは面会時や運営推進会議などが良い機会となっている。意見箱も設置し、外部への相談窓口も掲示している。出された意見や要望を職員で話し合い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員それぞれの提案や意見を気軽に言える雰囲気での運営の向上を図っている。	管理者は随時ミーティングで話し合い、職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。勤務時間の調整やエアコン修理・入浴を2人介助にする等、意見を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	楽しく働ける職場環境を意識して、個々の能力を発揮できるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	行政や地域包括支援センター等の研修には積極的に参加し、施設内勉強会も実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設職員との情報交換にてサービスの向上を図るようにしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境変化からの不安を十分理解し、今までの生活環境の把握をおこない、理想とされる生活スタイルを探り、会話を通じて信頼を築いていくように心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始に関して、ご家族の立場になり不安や要望を伺い支援の方向性を一緒に話し合い納得される支援を提供できるように心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所者様の全体像から重点支援をご家族と一緒に見極め、ご理解、納得を得るようにしております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族の一人として、言いたいことが気軽に言える関係を築き、できる家事等、一緒にしていただけるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員も家族の一員としてご家族と接し、お互い心が通う関係づくりに努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの生活での知人・友人の面会や行きつけの店等、気軽に交流されるように支援しております。	親戚や友人・知人の訪問の際には、状況に応じてお茶を出している。馴染みの店での買い物に出かけたり、電話の取次ぎ、年賀状のやり取りなど継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外出や外食・一時帰宅して衣類等の持ち帰り、理美容院利用・法事出席・墓参などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の趣味や特技を把握し、余暇の過ごし方の提案や入所者様同士の交流を促している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方の近況等、ご家族や近隣の方々との会話にて相談に応じるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人の要望や意向を察し、不満を感じておられないかの観察をおこない、適切な支援ができるように努めている。	日々の関わりの中で言葉や表情などから思いや意向などの把握に努めている。編み物や折り紙などの継続、希望で新聞の個人購読などにも対応している。困難な場合は、家族とも話し合っ て、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や知人・友人等から生活のリズムや趣味・特技、生活環境を伺い対応に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活パターンを把握してその人がより良い生活が過ごせるように、その人らしさを失うことのないように支援している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	その人の生活歴、趣味、特技等本人・家族・知人友人と話し合っ て介護計画を作成し、状態に応じて計画の見直しをおこなっている。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も踏まえた担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、入所者様の状態や介護の状況等、介護記録にて個々の状態を把握して職員間で共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設内で対応困難な事例等、他の施設との情報交換・連携にて対応するようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育園児の定期的な慰問やボランティア団体の受け入れ・地域行事等に参加するように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については、本人様・ご家族様の要望を伺い、定期受診の援助をおこなっています。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期受診は職員が支援している。他科受診は家族に連絡して職員が受診同行し、結果は家族に報告している。24時間医療連携体制が築かれ、緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。状況によっては救急車で対応している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員がお互い情報伝達して少しの異常でも早めの受診対応にて重度化を防止しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、日常の生活情報を的確に報告し、適切な治療にて早期退院ができるように病院と連携しております		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態の重度化については、随時ご家族と話し合いながら主治医との連携・意見を伺い支援の方向性を決めております。	契約時に重度化や終末期に向けた指針を説明し同意を得ている。状況変化に伴い、随時話し合い、食事が摂れなくなった時は、医療機関への転移や特別養護老人ホームへの入所も説明している。主治医や関係者が連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。入所の際、特別養護老人ホームに申請している人もいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルにて勉強会を実施し、緊急時の対応に備えております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練・地震、風水害等の指定避難施設への避難訓練を年1回実施しています。	消防署立会いのもと年1回、自主で年1回の昼夜想定避難訓練を実施している。地震・風水害想定訓練も実施している。スプリンクラーや緊急通報装置・AEDも設置している。地域に声をかけして協力をお願いしている。災害時の水・米・梅干し・カップラーメンなどの備蓄がある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報保護の徹底に努め、声かけの仕方など人格を尊重し、居室に入室する時は、本人の了解の下でプライバシー保護を心がけて支援しています。	マニュアルに沿って研修会を行い、誇りやプライバシーを損ねないケアに取り組んでいる。オムツ交換や入浴・トイレ誘導などで羞恥心に対する配慮を行っている。呼びかけは苗字にさん付けで対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で、気軽に要望など言える雰囲気づくりをおこない、できるだけ本人の意向に沿える支援をおこなっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活リズムを尊重し、その人なりの一日の流れに沿える支援に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	馴染みの美容室・衣料品店等、継続して利用されるように、本人の思いを尊重して支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付け等、できる範囲で職員と一緒にこない、食事とともに役割の満足を得られるように支援しております。	差し入れや旬の食材で嗜好に配慮し、個々に応じた食事形態を工夫している。台拭きや下膳などを職員と一緒にしたりして。土用にはうなぎを提供したり、誕生日祝いや季節の行事食・家族との外食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取は個々に対応し、居室にて摂取されるように準備し、毎食事・10時、15時のお茶にて水分摂取をおこなっている。食事形態は個々に対応し、キザミ食等、提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、うがいの声かけや、就寝前の入れ歯の洗浄管理を支援して、口腔の清潔保持の維持を図っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の訴えがない方への定時の声かけや、失敗の少ない方へ布製のリハパンを使用いただき、介護記録や排泄チェック表を活用して自立を促しています	排泄のリズムを把握し、さりげなく声かけをし、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。リハビリパンツと利用者に合わせて尿取りパットを使用している。オムツ交換以外はトイレで排泄している。夜間のポータブルトイレ使用者もいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できるだけ服薬に頼ることのないように水分摂取・運動の声かけにて便秘の理解を得られるように取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴を実施しており、入浴回数も身体状況に応じて随時の対応を心がけて支援しています。	入浴は基本的には週2回、午前中になっているが、体調や気分に沿って、柔軟に対応している。2人介助でシャワー浴もある。入浴剤を使い支援している。脱衣室の温度管理もしている。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に対応して、食後の昼寝等適度の睡眠を促し、生活のリズムが崩れないように声かけ等をおこなっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期受診援助にて、主治医に身体状況の変化等を報告し、心身の安定に努めています。服薬管理を徹底し、飲み忘れ等ないよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様個々の趣味を継続されるように、材料を準備したり、洗濯物の取り入れ・畳み・整理等、役割分担にて生きがいを感じられるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節に応じて、花見・彼岸花散策や買い物、チリ焼却場への同行等、外出を促している。家族や知人の援助にて外食、買い物等の援助をいただいています。	日常的には施設内を散歩したり、花を摘んだり、隣の農作業中の地域の人と会話をしている。希望で買い物に出かけている。計画を立てて地域の行事や花見・鬼火焚き等に出かけている。家族の協力で外出・外食・法事出席・墓参・理美容院利用の際にも支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は個々の対応としており、少額のお金は本人様が管理されて、買い物時には支払いをされている。預かり帳の定期的な確認をお願いして、残高を把握されるようにしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話を所持されておられる方の使用説明等をおこない、家族や知人と会話され、近況報告等されて楽しんでおられます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じていただけるように花を飾ったりして、癒やせる空間づくりを心がけ、朝は窓を開けたりして生活のリズムを意識されるように努めております。	共用の空間は、廊下が広くて長い。広々として天井も高く天窓もあり、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。厨房も広い。壁には行事の時の写真や季節感を大事にした飾りつけや花が活けてある。畳の間や多くのソファで居心地よく過ごせるような工夫がしてある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーのソファにてテレビを観られたり、居室にて会話をされたり、それぞれ自由な時間を楽しめるように支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の配置は、本人様、ご家族の意見を踏まえ、テレビやベッドの配置を随時変更したりして住み心地よく過ごされるように努めております。居室に、ご家族の写真等を飾られ、ご家族との関係維持を図り、精神的に安定されるように配慮しています	居室は和室と洋室があり、入居の際に希望している。窓からは自然を楽しめる。エアコンやベッド・クローゼットが備え付けである。テレビや寝具・クリアケース・家族の写真・ぬり絵・折り紙など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮してある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居住空間はバリアフリーにて安心して移動されるようになっており、ADLの自立促しながら少しでも生活に自信が持てるよう援助しております。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない